

最初のステップ!

デザインするときは情報に優先順位をつけよう

情報に優先順位をつける

デザインを作るときは、制作物で何を伝えたいか、見る人にどう思ってもらいたいのかを考えます。

では、伝えたい情報が複数あるときはどのようなデザインにしたら、見る人が理解しやすくなるでしょうか。

デザインする場面では、複数の情報を扱うことがほとんどだと思います。情報の優先順位によって、レイアウトや大きさ、色までもが変わってくるので、情報の優先順位づけはデザインに必須の作業になります。

情報の優先順位をつけるときは、以下のことを考えてみましょう。

- ・ 発信する人が伝えたい情報
- ・ 見る人が知りたい情報

複数の情報の中から、何を1番知ってほしいか、知ってほしいことにはどの情報が必要になるのか、など発信する側に立ってみて優先順位をつけたり、見る人が知りたい情報や、正しく内容を受け取れるか、など見る側に立って優先順位をつけたりします。

優先順位をデザインに反映する

レイアウトをする前に、優先順位をつけることが大切になってきますが、優先順位をつけた後、どのようにしてデザインに反映すると効果的なのでしょうか。

優先順位の違いによってデザインが変わる



新しくオープンしたことを優先して伝えるデザイン



ホットドック屋だと優先して伝えるデザイン

優先順位が違うことによって目立たせる要素が変わってくる

大きさを覚えて優先する

優先順位に従って、要素の大きさを変更します。優先順位が高い要素ほど大きなサイズで、低い要素ほど小さなサイズで配置します。

見る人は自然とサイズが大きい要素に目が行くので、大きい要素から順番に見ていきます。

大きく配置すると、その他の要素よりも強調されて見えるので、小さく配置された優先順位が低い要素よりも印象に残りやすいです。



位置を変えて優先する

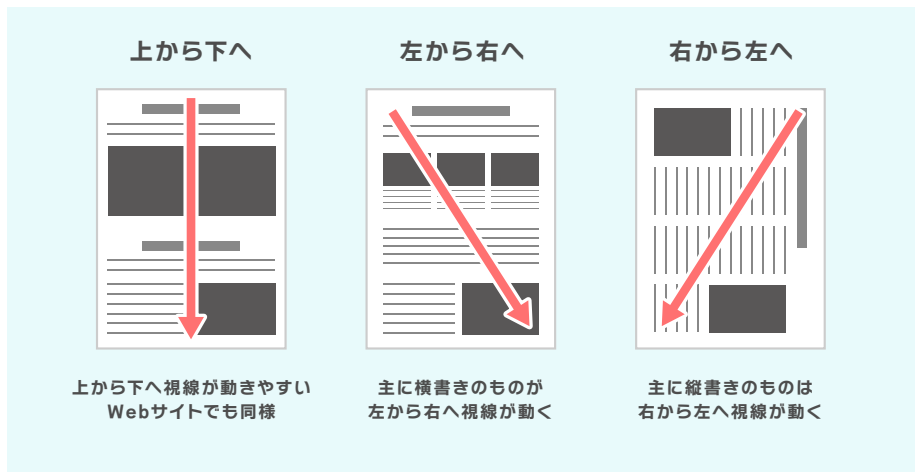
優先順位に従って、要素の配置する位置を変更します。

見る人は基本的に

- ・ 上から下へ
- ・ 横書きの場合：左から右へ
- ・ 縦書きの場合：右から左へ

視線が動きます。

そのため、優先順位が高い要素は上の方に、優先順位が低い要素は下の方へ配置すると効果的です。また、横書きでは左側が、縦書きだと右側が優先度が高いです。

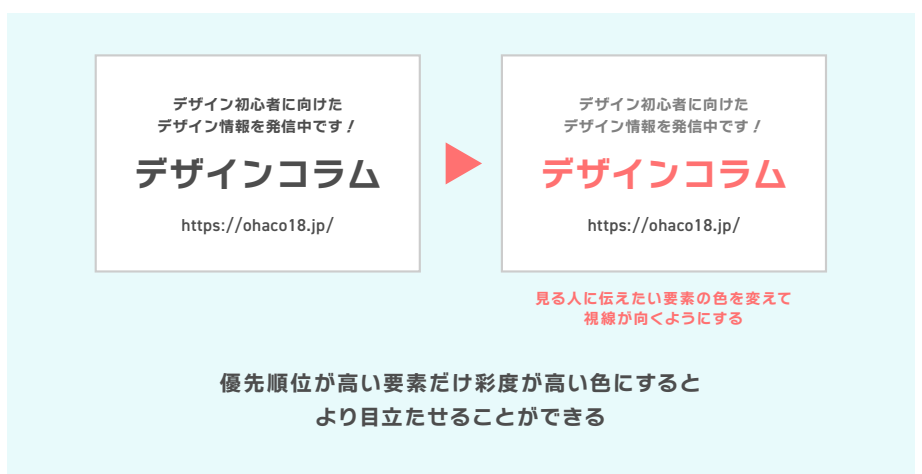


色を変えて優先する

優先順位に従って、要素の色を変更します。

複数ある要素の中で、ひとつだけ色が異なっていたり、彩度が高いと優先度が高く見えます。

彩度のコントラストによって色が強調されて見えるので、優先順位が高い要素には鮮やかな彩度が高い色を使い、優先順位が低い要素には無彩色などの彩度の低い色を使うと効果的です。



まとめ

- デザインの 1 番最初に情報の優先順位をつける
- 大きさを変えて優先する
- 位置を変えて優先する
- 色を変えて優先する

記事・資料制作 | 株式会社SMC-POWER (<https://smc-power.jp/>)

本資料の再配布、資料を加工した転載や配布、販売は禁止させていただきます。
利用で発生した障害や事故などに関していかなる保証も行いません。

